

Novell SecureLogin 6.1 サポートパック 1 Readme

2009年6月30日

Novell®

1 マニュアル

次のマニュアルには、Novell® SecureLogin 6.1 サポートパック 1 (SP1) に関する情報が記述されています。

- ◆ 概要: 『*Novell SecureLogin 6.1 SPI Overview Guide*』
- ◆ インストール: 『*Novell SecureLogin 6.1 SPI Installation Guide*』
- ◆ 管理: 『*Novell SecureLogin 6.1 SPI Administration Guide*』
- ◆ アプリケーション定義: 『*Novell SecureLogin 6.1 SPI Application Definition Guide*』
- ◆ Citrix および Terminal Services: 『*Novell SecureLogin 6.1 SPI Citrix and Terminal Services Guide*』
- ◆ クイックスタート: 『*NMAS Login Method and Login ID Snap-In for pcProx*』
- ◆ ユーザマニュアル: 『*Novell SecureLogin 6.1 SPI User Guide*』
- ◆ Novell マニュアルの Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/securelogin61/index.html>) にあるオンライン製品ドキュメント

2 はじめに

Novell SecureLogin はシングルサインオンアプリケーションです。ネットワークやアプリケーションに対する認証機能およびシングルサインオン機能を提供する、複数の統合セキュリティシステムで構成されています。企業ネットワークとそのユーザーソースにシングルエントリポイントを提供することにより、セキュリティを強化すると同時に企業のセキュリティポリシーの遵守を向上させることができます。必要なユーザ名とパスワードは自動的に入力されるので、ユーザは複数のユーザ名とパスワードを覚える必要がなくなります。

このドキュメントでは、このバージョンの Novell SecureLogin で導入された新機能について紹介します。また、Novell SecureLogin の管理、動作、およびその他の機能に関する問題について説明します。

3 トラブルシューティング

Novell SecureLogin 6.1 SP1 を初めてインストールしたときに、アップグレードを促すプロンプトが表示された場合は、製品キーへの参照をすべて削除してからインストールを続行します。

注: 参照を削除する前にレジストリキーのバックアップを実行してください。

- 1 [スタート] > [ファイル名を指定して実行] の順にクリックし、「regedit」と入力します。

- 2 レジストリキーの中から 80D1DD4E-85FD-4978-B010-9C480B10DF18 を探します。
- 3 この製品キーへの参照を削除します。

4 Desktop Automation Services の統合

このリリースの Novell SecureLogin では、Desktop Automation Services (DAS) を Novell SecureLogin と一緒にインストールするかどうかを選択できます。

以前は、DAS はスタンドアロンコンポーネントとしてリリースされ、Novell SecureLogin で使用する場合は別途ダウンロードする必要がありました。このリリースでは、Novell SecureLogin 6.1 SP1 のインストール中に DAS をインストールすることができます。Novell SecureLogin 6.1 SP1 のインストール時に、[インストール機能] ページの [Desktop Automation Services のインストール] オプションを選択してください。

5 6.1 SP1 の既知の問題

- 2 ページのセクション 5.1 「カードを紛失した場合のシナリオで、スマートカードに関するプロンプトが繰り返し表示される」
- 3 ページのセクション 5.2 「共有ワークステーションへの Novell SecureLogin の展開」
- 3 ページのセクション 5.3 「スマートカードを使用した Web アプリケーションのシングルサインオンの有効化」
- 3 ページのセクション 5.4 「SLManager による LDAP ツリーブラウザ履歴の表示」
- 4 ページのセクション 5.5 「LDAP GINA モードで [ワークステーションのみ] オプションが選択される」
- 4 ページのセクション 5.6 「GINA モードでの初回認証時の猶予ログイン」
- 4 ページのセクション 5.7 「ネットワーク接続を解除した後にオフライン資格情報の指定を促すプロンプトが表示される」
- 4 ページのセクション 5.8 「DAS のインストールでエラーが発生する」
- 5 ページのセクション 5.9 「SLManager で、リーフオブジェクトがコンテナオブジェクトのように表示される」
- 5 ページのセクション 5.10 「[ワークステーションのみ] のログインで、ユーザ名に関するプロンプトが表示される」
- 5 ページのセクション 5.11 「6.0 から 6.1 に移行した SamAccountName による LDAP 検索機能」

5.1 カードを紛失した場合のシナリオで、スマートカードに関するプロンプトが繰り返し表示される

カードを紛失した場合のシナリオで、ユーザが Novell SecureLogin にログインしようとする時、スマートカードへのアクセスに失敗したことを示すメッセージが表示される前に、スマートカードを挿入するよう促すプロンプトが何度も表示されます。

パスフレーズを使用するよう促すプロンプトは表示されないため、ユーザはログインできません。この現象は、[セキュリティの初期設定] で [カードを紛失した場合のシナリオ] を [スマートカードを必須にする] に、[パスフレーズのセキュリティシステムを有効にする] を [いいえ] に設定している場合に発生します。> > >

ログインを続行するには、元のスマートカードを探すか、カードを再発行する必要があります。

5.2 共有ワークステーションへの Novell SecureLogin の展開

ローカルの資格情報を2人以上のユーザが共有している共有ワークステーションに Novell SecureLogin を展開する場合は、Secure Workstation または DAS のいずれかを使用して、すべてのプログラムを終了してネットワークからログアウトする必要があります。

このオプションが必要な理由は次のとおりです。

- ◆ 1人のユーザが Microsoft* Windows* Vista* または Microsoft Windows XP または LDAP モード (Microsoft Windows Vista) で、Novell SecureLogin に Novell Client™ モードでログインしている場合、このユーザがワークステーションをロックし、後でワークステーションの資格情報を使用してロックを解除しようとする、ディレクトリユーザのログオフが失敗します。

また一方、ディレクトリユーザはログインしたままで、Novell SecureLogin は引き続き実行されます。このため、ワークステーションの資格情報を使用してログインしているユーザには、ディレクトリの資格情報ストアに対するアクセス権があります。

このようなシナリオでは、ワークステーションのロックを使用しないようにしてください。代わりに、Secure Workstation または DAS を使用してワークステーションを構成し、すべてのプログラムを終了してネットワークからログアウトするようにタイマを設定してください。

5.3 スマートカードを使用した Web アプリケーションのシングルサインオンの有効化

Gmail* などの Web アプリケーションのシングルサインオンを有効化する場合にスマートカードを使用して資格情報を保存すると、その Web サイトに次回スマートカードを使用しないでアクセスしようとする、スマートカードを挿入するよう促すプロンプトが表示されます。このメッセージをキャンセルすると、SecureLogin は終了します。また、アプリケーション定義の実行時に、エラーが発生する場合があります。

5.4 SLManager による LDAP ツリーブラウザ履歴の表示

SLManager は LDAP ツリーブラウザの履歴を表示します。保持される履歴エントリの数は最大 20 です。既存のエントリは古いものから順に、21 番目以降の新しいエントリによって上書きされていきます。この制約は Novell SecureLogin によるものではありません。あくまでも仕様によるものです。

この履歴を見るには、まず、[スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] を選択し、「regedit」と入力します。そして、レジストリエディタが起動したら HKCU\HKCU\HKCU [HKCU]、[Software]、[Protocom]、[SLManager] の順に選択します。> > > >

5.5 LDAP GINA モードで [ワークステーションのみ] オプションが選択される

Novell SecureLogin を LDAP GINA モードまたは Credential Provider モードでインストールして、レジストリ値 HKLM\Software\Protocom\SecureLogin\TryRegCredInOffline が 1 に設定されている場合、Novell SecureLogin の動作は次のようになります。

- ◆ [ワークステーションのみ] オプションを選択してユーザがワークステーションにログインした場合、ユーザは Novell SecureLogin にシームレスにログインし、デスクトップが起動します。
- ◆ ネットワーク接続が有効でない場合は、ワークステーションのダイアログボックスが表示されます。認証に成功したら、ユーザはログインすることができ、デスクトップが起動します。
- ◆ サーバにアクセスできない場合、Novell SecureLogin がユーザの資格情報を使用してワークステーションに対する認証を行います。その後、ユーザは Novell SecureLogin にシームレスにログインできます。

5.6 GINA モードでの初回認証時の猶予ログイン

6.1 リリースでは、GINA モードの初回ログイン時に eDirectory パスワードの期限が切れていた場合、パスワードの期限切れに関する警告がユーザに表示されません。その代わりに、ユーザは通知を受けることなく正常に認証されます。

デスクトップの表示後に、パスワードの期限切れに関する警告と、Novell SecureLogin だけで有効な猶予ログインの回数が表示されます。その後、パスワードの変更を促すプロンプトがユーザに表示されます。

この問題は修正され、初回ログイン時に警告が表示されるようになりました。

5.7 ネットワーク接続を解除した後にオフライン資格情報の指定を促すプロンプトが表示される

Novell SecureLogin が LDAP GINA モードでインストールされている場合、eDirectory™ または任意の LDAP ディレクトリがオンラインの状態ですとネットワーク接続を解除すると、その後のログインで Novell SecureLogin がオフラインモードにシームレスに移行できません。この結果、ユーザにはオフラインの資格情報を指定するよう促すプロンプトが表示されます。この資格情報に関するプロンプトの表示を回避して Novell SecureLogin がオフラインモードにシームレスに移行できるようにするには、レジストリを編集して TryRegCredInOffline の値を 1 に設定します。

5.8 DAS のインストールでエラーが発生する

Novell Client™ の eDirectory モードで DAS をインストールすると、「Error in parsing xml file during install (インストール中に XML ファイルの解析でエラーが発生しました)」というエラーが表示される場合があります。このエラーは、サーバまたは指定した設定オブジェクトが無効の場合に発生します。

この問題を修正するには、メッセージを無視してインストールを続行します。インストールまたは再起動の後で、次の操作を行います。

- 1 管理者としてログインします。
- 2 レジストリ値 ConfigObject および ConfigTree を正しく設定します。
ConfigObject は ArsControl オブジェクトで、ConfigTree はサーバまたはツリーの情報です。レジストリの場所は、HKLM\Software\Novell\Login\ARS です。
- 3 ARSControl /RegServer を実行します。

5.9 SLManager で、リーフオブジェクトがコンテナオブジェクトのように表示される

SLManager では、リーフオブジェクトがコンテナオブジェクトのように表示されます。つまり、SLManager でディレクトリのリーフオブジェクトを開くと、フォルダアイコンとプラス記号 (+) が表示されます。

プラス記号をクリックすると、フォルダアイコンがファイルアイコンに変化します。

5.10 [ワークステーションのみ] のログインで、ユーザ名に関するプロンプトが表示される

[ワークステーションのみ] でログイン中に、ワークステーションまたはローカルの資格情報が eDirectory の資格情報と一致しない場合、資格情報に関するプロンプトが表示され、ユーザはシームレスにログインできません。シームレスなログインを実現するには、レジストリエントリ TryRegCredOffline の DWORD 値を 1 に手動で変更する必要があります。

5.11 6.0 から 6.1 に移行した SamAccountName による LDAP 検索機能

LDAPSearch キーの SearchAttributes に指定された属性による検索を LDAPAuth が実行するには、属性をパブリックに読み込める必要があります。

- 1 レジストリ HKLM\Software\Novell\Login\LDAP の下に LDAPSearch キーを作成します。
- 2 HKLM\Software\Novell\Login\LDAP の下に、SearchAttributes エントリ REG_MULTI_SZ を作成します。
- 3 作成したエントリには、LDAP での検索対象とする属性のリストの値 (例 : cn samAccountName) を指定します。

sAMAccountName 属性に対する LDAP 検索を有効にするには、以前の匿名ログインに Read General Information 許可と Read Public Information 許可が必要です。

6 6.1 で導入された新機能

- ◆ 6 ページのセクション 6.1 「Vista のサポート」
- ◆ 6 ページのセクション 6.2 「MSI インストールパッケージ」

- ◆ 6 ページのセクション 6.3 「Novell グループポリシーのサポート」
- ◆ 7 ページのセクション 6.4 「スマートカードログイン」
- ◆ 7 ページのセクション 6.5 「スマートカードミドルウェアのサポート」
- ◆ 7 ページのセクション 6.6 「Active Directory グループサポートの拡張」
- ◆ 8 ページのセクション 6.7 「Citrix 公開アプリケーションのサポート強化」
- ◆ 8 ページのセクション 6.8 「複数の Java Runtime Engine のサポート」
- ◆ 8 ページのセクション 6.9 「実行時の JRE の自動更新」
- ◆ 8 ページのセクション 6.10 「その他の JRE バージョンのサポート」
- ◆ 8 ページのセクション 6.11 「MEDITECH のサポート」
- ◆ 8 ページのセクション 6.12 「Desktop Automation Services のサポート」
- ◆ 9 ページのセクション 6.13 「個々のスクリプトのエクスポート」
- ◆ 9 ページのセクション 6.14 「Vista の LDAP 資格情報プロバイダ」
- ◆ 9 ページのセクション 6.15 「英語以外の言語のサポート」
- ◆ 9 ページのセクション 6.16 「その他の設定」

6.1 Vista のサポート

Novell SecureLogin 6.1 は、Microsoft* Vista* オペレーティングシステムをサポートしています。サポートの対象となるのは、Vista Ultimate、Vista Business、および Vista Enterprise の各エディションです。

インストールパッケージは、32 ビットと 64 ビットの両方のオペレーティングシステムをサポートしています。

6.2 MSI インストールパッケージ

このリリースの Novell SecureLogin では、Novell SecureLogin のインストールに MSI インストーラパッケージが導入されています。

注：MSI インストーラは、以前のバージョンの Novell SecureLogin (非 MSI インストーラ) からのアップグレードに対応しています。

詳細については、『*Novell SecureLogin 6.1 SP1 Installation Guide*』を参照してください。

6.3 Novell グループポリシーのサポート

このリリースの Novell SecureLogin では、Novell eDirectory™ グループがサポートされています。

Novell SecureLogin の初期設定を、以前のリリースで提供されていたコンテナレベルやユーザレベルでのサポートのほかに、グループレベルでも適用できるようになりました。

管理者用管理ユーティリティの [詳細設定] ペインの [企業再配置] タブで [設定グループ] オプションを使用して、Novell SecureLogin の設定をオブジェクトに継承するグループを指定することができます。> >

グループは、コンテナレベルまたは部門レベルで設定されます。グループはコンテナよりも優先され、ユーザはグループやコンテナよりも優先されます。

詳細については、『*Novell SecureLogin 6.1 Administration Guide*』の「[Configuring Groups Within eDirectory](#)」を参照してください。

6.4 スマートカードログイン

このリリースの Novell SecureLogin では、スマートカードの初期設定の処理方法が変更されています。

ユーザがスマートカードを使用してワークステーションにログインした場合、管理者が Novell SecureLogin で初期設定を設定していても、インストール時にスマートカードの初期設定を選択する必要があります。


注: この処理は、Microsoft Windows* 2000、XP、および Vista のすべてのワークステーションに適用されます。

6.5 スマートカードミドルウェアのサポート

Novell SecureLogin 6.1 は、SecureLogin の機能として、ActivClient*、Gemalto* (以前の Axalto)、および AET SafeSign* スマートカードのミドルウェアをサポートしています。

この他のミドルウェアベンダはサポートされていません。

次のような機能があります。

- ◆  PKI 資格情報の暗号化
- ◆ スマートカードへの Novell SecureLogin 資格情報の保存
- ◆ Novell SecureLogin の操作に対するスマートカードのプレゼンスの強化

この設定を行うには、[セキュリティ] 設定の下の管理者用管理ユーティリティで、[SSO および管理操作ではスマートカードの存在を必須とする] オプションを使用します。>

セキュリティ設定の詳細については、『*Novell SecureLogin 6.1 Administration Guide*』の「[The Security Preferences Properties Table](#)」の表を参照してください。

6.6 Active Directory グループサポートの拡張

Microsoft のグループポリシーオブジェクト機能を使用する Active Directory* の場合、管理者はグループポリシー全体に適用されたシングルサインオン設定の結果セットを Novell SecureLogin で参照できます。このためには、Microsoft グループポリシー管理コンソールを管理ワークステーションにインストールする必要があります。

詳細については、『*Novell SecureLogin 6.1 SP1 Administration Guide*』を参照してください。

6.7 Citrix 公開アプリケーションのサポート強化

このリリースの Novell SecureLogin では、Citrix* 公開アプリケーション用に公開アプリケーションのシングルサインオンプロセスが自動化されています。Citrix 公開アプリケーションでは、他のアプリケーションと同様に、Web ウィザードまたはアプリケーション定義を使用してシングルサインオンを有効にすることができますようになりました。

6.8 複数の Java Runtime Engine のサポート

Novell SecureLogin では、Java* Runtime Engine (JRE*) の複数のインスタンスがサポートされるようになりました。インストール時に、クライアント上の複数の JRE を検出し、それらの JRE に対してシングルサインオンを自動的に有効にします。この処理は自動的に行われます。インストール時に手動で Java オプションを選択する必要はありません。

6.9 実行時の JRE の自動更新

インストール後および起動時に、Novell SecureLogin はクライアントに新しい JRE があるかどうかを確認します。プロンプトが表示されることもユーザ操作を求められることもなく、すべての JRE でシングルサインオンが自動的に有効になります。

注: この更新処理を行うには、ローカルマシンでの管理権が必要です。ユーザに管理権がない場合、更新処理は失敗し、警告などは表示されません。

6.10 その他の JRE バージョンのサポート

このリリースでは、Oracle* JInitiator* 1.3.1 以降および Sun* JRE 1.3 以降をサポートしています。

6.11 MEDITECH のサポート

Novell SecureLogin 6.1 は、MEDITECH* 3.x および 4.x をサポートしています。この機能は、MEDITECH の mrwscript.dll ファイルが存在すれば使用できます。

このファイルは、MEDITECH アプリケーションをワークステーションにインストールするときにインストールする必要があります。

MEDITECH サポートの詳細については、『*Novell SecureLogin 6.1 Administration Guide*』の「[Support for the MEDITECH Predefined Application](#)」を参照してください。

6.12 Desktop Automation Services のサポート

Novell SecureLogin 6.1 は、Desktop Automation Services をサポートしています。Novell SecureLogin は、Desktop Automation Services が機能するために必要です。

Desktop Automation Services は、Novell SecureLogin のアドオンであり、共有ワークステーションまたはキオスク (日中、複数のユーザが同じワークステーションを使用している環境) に関連する固有のユースケースを処理します。

詳細については、Novell マニュアルの Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/das20/index.html>) にある、『Desktop Automation Services Administration Guide』を参照してください。

6.13 個々のスクリプトのエクスポート

このリリースの Novell SecureLogin では、管理者は iManager SSO プラグインを使用して、すべてのスクリプトまたは選択したスクリプトをエクスポートすることができます。管理者には、エクスポートするスクリプトを選択するための新しいダイアログボックスが表示されます。

詳細については、『Novell SecureLogin 6.1 SPI Installation Guide』を参照してください。

6.14 Vista の LDAP 資格情報プロバイダ

現在、Windows Vista では LDAP GINA はサポートされていません。

LDAP GINA に代わり、Windows Vista では LDAP 資格情報プロバイダがサポートされています。

6.15 英語以外の言語のサポート

このバージョンでは、言語サポートに関する方法が以前のバージョンの Novell SecureLogin とは異なっています。以前のバージョンでは、インストール中に言語の選択を促すプロンプトがユーザに表示されていました。

このバージョンの Novell SecureLogin では、このオプションは用意されておらず、インストールプロセス全体で英語が使用されるようになりました。

ただし、コマンドラインオプションを使用して、英語以外の言語でインストールすることができます。

- 1 コマンドラインで次のコマンドを指定します。

```
msiexec.exe /i "Novell SecureLogin.msi" TRANSFORMS=<言語コード>.mst
```

<言語コード> は特定の言語を表しています。

- ◆ 1041 は日本語を表します。
- ◆ 1036 はフランス語を表します。
- ◆ 1046 はポルトガル語 (ブラジル) を表します。
- ◆ 1031 はドイツ語を表します。
- ◆ 1034 はスペイン語を表します。

6.16 その他の設定

このリリースの Novell SecureLogin では、いくつかの初期設定オプションが追加されました。これらのオプションは、iManager、Microsoft 管理コンソール、SLManager などの管理者用管理ユーティリティを使用して適用できます。

これらのオプションは、管理用の初期設定のみで、ユーザ用の初期設定ではありません。

- ◆ Novell SecureLogin をオフに切り替えたときに Novell SecureLogin のスプラッシュスクリーンが表示されないようにする。
- ◆ Novell SecureLogin 通知領域アイコンの [ユーザのログオフ] オプションを削除する。
- ◆ 管理者が Novell SecureLogin の通知領域アイコンから [Novell SecureLogin を終了する] オプションを削除できるようにする。
- ◆ Novell SecureLogin の通知領域アイコンで [キャッシュの更新] オプションを無効にする。
- ◆ Novell SecureLogin の通知領域アイコンで [オフライン作業] オプションを無効にする。
- ◆ 資格情報の編集と削除に関するオプションを拡張する。
- ◆ スクリプトの表示および変更に関する初期設定を2つの別個の初期設定に分割する。>
- ◆ パスワードポリシーの初期設定に新しい設定を追加する。

これらの初期設定の詳細については、『*Novell SecureLogin 6.1 SPI Administration Guide*』を参照してください。

7 6.1 の既知の問題

次に挙げる問題は、このバージョンの Novell SecureLogin で発生する可能性がある既知の問題です。

- ◆ 10 ページのセクション 7.1 「一般的な問題」
- ◆ 20 ページのセクション 7.2 「iManager に関する問題」
- ◆ 22 ページのセクション 7.3 「Java 関連の問題」
- ◆ 22 ページのセクション 7.4 「LDAP 関連の問題」
- ◆ 23 ページのセクション 7.5 「SNMP 関連の問題」
- ◆ 25 ページのセクション 7.6 「pcProx 関連の問題」
- ◆ 26 ページのセクション 7.7 「スクリプト関連の問題」
- ◆ 27 ページのセクション 7.8 「SecretStore 関連の問題」
- ◆ 28 ページのセクション 7.9 「Secure Workstation 関連の問題」
- ◆ 29 ページのセクション 7.10 「TLaunch 関連の問題」
- ◆ 29 ページのセクション 7.11 「Web 関連の問題」

7.1 一般的な問題

- ◆ 12 ページの 「アップグレードの後に Novell Client のログインに失敗する」
- ◆ 12 ページの 「Citrix サーバへの Novell SecureLogin のインストール」
- ◆ 13 ページの 「Microsoft Windows Vista リモートデスクトップクライアントへのシングルサインオン」
- ◆ 13 ページの 「Microsoft Windows 2000 ドメインコントローラでの RDP」
- ◆ 13 ページの 「[資格情報をスマートカードに保存する] オプションを使用した Citrix ICA クライアントへのログイン」

- ◆ 13 ページの「スマートカードサポートオプションの変更」
- ◆ 13 ページの「アップグレード時に [パスフレーズのセキュリティシステムを無効にする] オプションが表示される」
- ◆ 13 ページの「データストアモードの表示」
- ◆ 14 ページの「Novell SecureLogin の [バージョン情報] ウィンドウにデータベースモードのバージョンが正しく表示されない」
- ◆ 14 ページの「[パスフレーズの変更] オプションの有効性」
- ◆ 14 ページの「[パスフレーズのセキュリティシステムを有効にする] の初期設定値の選択」
- ◆ 14 ページの「パスフレーズの回答を再入力できない」
- ◆ 15 ページの「LDAP エラー 49」
- ◆ 15 ページの「オフラインメッセージが何回も表示される」
- ◆ 15 ページの「[ログインの管理] ウィンドウからログインを削除できない」
- ◆ 15 ページの「インストールが中断される」
- ◆ 15 ページの「Novell SecureLogin のアップグレード時に、混乱を招くダイアログボックスが表示される」
- ◆ 16 ページの「2 つの異なる eDirectory ツリーで同じ名前とコンテキストを持つユーザが同じ Windows マシンにログインしようとする、Novell SecureLogin でエラーが発生する」
- ◆ 16 ページの「アップグレード後にスタンドアロンモードでのユーザの追加に失敗する」
- ◆ 16 ページの「AVI ファイルを Secure Workstation で再生したときの Windows Vista 上のタイムアウトの警告」
- ◆ 16 ページの「ワークステーションのログイン時に NSL が Novell iFolder 2.1.x クライアントを認識しない」
- ◆ 16 ページの「ユーザが LDAP モードで NSL へのログインをキャンセルするときに、NSL を終了できない」
- ◆ 17 ページの「ScriptBroker モジュールをインスタンス化できません : 80070005」
- ◆ 17 ページの「ユーザが eDirectory モードと LDAP モードの両方で同じスマートカードを使って認証できない」
- ◆ 17 ページの「AES 暗号化が Windows 2000 でサポートされない」
- ◆ 17 ページの「通知領域アイコンのロックを解除する際にパスワードの大文字と小文字を区別する機能が動作しない」
- ◆ 17 ページの「pcProx 認証を使って通知領域アイコンのロックを解除できない」
- ◆ 17 ページの「キャッシュの更新によって LDAP モードでの猶予ログインが減少する」
- ◆ 18 ページの「NICI クライアントがアンインストールされない」
- ◆ 18 ページの「一意の名前の使用」
- ◆ 18 ページの「ZENworks for Desktops 管理エージェントのアンインストール後のログイン」
- ◆ 18 ページの「Citrix サーバ認証の場合、手動でスマートカードの PIN を入力する必要がある」
- ◆ 18 ページの「Active Directory でデータストアのバージョンを更新する際の問題」

- ◆ 19 ページの「[パスフレーズのセキュリティシステムを有効にする] を変更した場合、ログインが必要」
- ◆ 19 ページの「キャッシュの期限」
- ◆ 19 ページの「ViewNow 端末エミュレータ」
- ◆ 19 ページの「スタンドアロンモードでの ?syspassword 変数の使用」
- ◆ 19 ページの「Microsoft Windows Vista での SLLogging Manager の使用」
- ◆ 20 ページの「イベントコマンドの実行」
- ◆ 20 ページの「SLManager でのオブジェクトの選択」
- ◆ 20 ページの「古いパスワードの検証」
- ◆ 20 ページの「Telnet ウィンドウでの簡易編集モード」

7.1.1 アップグレードの後に Novell Client のログインに失敗する

Novell SecureLogin を Novell Client モードで 6.0 から 6.1 にアップグレードした後、Novell Client™ のログインに失敗します。

この問題を解決するには、Novell SecureLogin クライアントをアップグレードする前に、次の操作を行います。

- 1 NICI をアップグレードします。
- 2 クライアントを再起動します。

重要: 再起動は必ず行ってください。

- 3 NMAS™ をアップグレードします。
- 4 Novell SecureLogin をアップグレードします。
- 5 クライアントを再起動します。

NICI が原因で Novell Client にログインできない場合は、NICI を再インストールしてからクライアントを再起動してください。

7.1.2 Citrix サーバへの Novell SecureLogin のインストール

Novell SecureLogin を Citrix サーバにインストールする場合、Citrix サーバをインストールモードに移行しても、Novell SecureLogin はインストールされません。インストールするには、Citrix サーバを実行モードに戻す必要があります。

- 1 DOS プロンプトに移動します。
- 2 プロンプトに、「change user/install」と入力します。
このコマンドを実行すると、Citrix サーバはインストールモードになります。
- 3 <Enter> を押します。
- 4 Novell SecureLogin をインストールします。

警告: インストールが完了した後に、サーバを再起動しないでください。

- 5 インストールが完了したら、DOS プロンプトに移動します。
- 6 プロンプトに、「change user/execute」と入力します。
- 7 <Enter> を押します。

このコマンドを実行すると、Citrix サーバは実行モードに戻ります。

8 サーバを再起動します。

7.1.3 Microsoft Windows Vista リモートデスクトップクライアントへのシングルサインオン

Novell SecureLogin では、Microsoft Windows Vista リモートデスクトップクライアントへのシングルサインオン操作を Novell Client または LDAP モードのいずれかで実行していると、正しいドメイン名が渡されない場合があります。

7.1.4 Microsoft Windows 2000 ドメインコントローラでの RDP

ドメインコントローラとして機能している Microsoft Windows 2000 サーバで RDP セッションを開始するには、ユーザをドメインコントローラポリシーに追加して、オペレーティングシステムの一部として機能するようにする必要があります。

これは Microsoft の設定です。

7.1.5 [資格情報をスマートカードに保存する] オプションを使用した Citrix ICA クライアントへのログイン

[資格情報をスマートカードに保存する] オプションを [はい] に設定して Citrix ICA クライアントにログインしている場合、Citrix のセッション中にユーザが追加したアプリケーション資格情報がカードに保存されない場合があります。> この資格情報は、ディレクトリには正常に保存されます。

7.1.6 スマートカードサポートオプションの変更

Novell SecureLogin のインストール時にスマートカードサポートオプションを選択した場合、インストーラの [変更] オプションを使用してスマートカードサポートオプションを変更したり削除したりしないでください。変更または削除を行うと、セカンダリデータストア (オフラインキャッシュ) が使用できなくなる可能性があります。

注: Novell SecureLogin の初期設定を使用すると、スマートカードオプションへのユーザアクセスを制御できます。

7.1.7 アップグレード時に [パズフレーズのセキュリティシステムを無効にする] オプションが表示される

データストアを 3.5 から 6.0 にアップグレードし、Novell SecureLogin を 6.1 にアップグレードするとき、[パズフレーズのセキュリティシステムを無効にする] が [はい] に設定されていると、「キャッシュファイルがディレクトリ認証データとの同期を失いました。キャッシュファイルを削除して再作成しますか?」というメッセージが表示されます。>

Novell SecureLogin が正しくロードされるようにするには、[はい] をクリックします。

7.1.8 データストアモードの表示

Novell SecureLogin の [バージョン情報] ウィンドウに表示される情報は、ログイン時に作成されます。ユーザのデータベースモードに適用された変更は、次のログインまでユーザの [バージョン情報] ウィンドウには反映されません。

7.1.9 Novell SecureLogin の [バージョン情報] ウィンドウにデータベースモードのバージョンが正しく表示されない

パスフレーズの質問と回答を入力した後に初めて Novell SecureLogin にアクセスすると、Novell SecureLogin の通知領域アイコンからアクセスする [バージョン情報] ウィンドウの [データベースモード] に、データベースモードのバージョンが、「3.0 3.0 データがあります 有効な PP」のように表示されます。

2 回目以降のログイン時には、正しいバージョンが表示されます。

7.1.10 [パスフレーズの変更] オプションの有効性

パスフレーズシステムが既に設定されているときに管理者が [パスフレーズのセキュリティシステムを有効にする] オプションを無効にすると、管理者がパスフレーズのセキュリティシステムを無効にしたことを示す警告メッセージが表示されます。パスフレーズの設定の変更は、変更を受け入れるまで適用されません。変更を受け入れない場合は、パスフレーズセキュリティシステムを引き続き使用できます。この動作は、ユーザが知らないうちに管理者によってパスフレーズの保護が無効にされることを防ぎます。

ただし、この場合は、Novell SecureLogin の通知領域の [詳細] メニューから使用できる [パスフレーズの変更] オプションは、管理者がパスフレーズの設定をリセットするまで使用できません。>

7.1.11 [パスフレーズのセキュリティシステムを有効にする] の初期設定値の選択

Novell SecureLogin 3.5 を設定するときに、[パスフレーズのセキュリティシステムを無効にする] オプションが [はい] に設定されていると、Novell SecureLogin を 3.5.x から 6.1 にアップグレードし、データストアを 3.5 から 6.0 にアップグレードするときに、Novell SecureLogin 6.1 で [パスフレーズのセキュリティシステムを有効にする] の値が [はい] と表示されます。> > >

注: バージョン 6 以降の製品では、初期設定が [パスフレーズのセキュリティシステムを無効にする] から [パスフレーズのセキュリティシステムを有効にする] に変更されました。>

Novell SecureLogin 3.5 では [パスフレーズのセキュリティシステムを無効にする] が [いいえ] に設定されていたため、[パスフレーズのセキュリティシステムを有効にする] オプションは、[隠し] に設定されている必要があります。> > >

この問題は、SecureLogin Manager でのみ発生します。

7.1.12 パスフレーズの回答を再入力できない

Microsoft Windows Vista の環境では、誤ったパスワードを指定してオフラインモードで Novell SecureLogin にログインすると、パスフレーズの回答の入力を要求するプロンプトが表示されます。誤ったパスフレーズの回答が指定されると、認証の再試行を要求するプロンプトが表示されます。

ただし、そこで再度誤ったパスワードを指定すると、パスフレーズの回答ではなく、パスワードの指定を要求するプロンプトが表示されます (つまり、パスフレーズのダイアログボックスの代わりにパスワードのダイアログボックスが表示されます)。

Novell SecureLogin を閉じてから再起動すると、最初にパスワードの入力を要求するプロンプトが表示され、誤ったパスワードが指定された場合にはパスワードの回答の入力を要求するプロンプトが表示されるようになります。

7.1.13 LDAP エラー 49

LDAP エラー 49 は、LDAP と NMAS-NDS 認証が使用されているときに、NDS[®] のパスワードプロンプトウィンドウで [キャンセル] をクリックすると発生します。

ログインを続行するには、エラーウィンドウで [OK] をクリックしてください。

7.1.14 オフラインメッセージが何回も表示される

Novell SecureLogin が Citrix サーバ上に Novell Client モードでインストールされている場合に、Citrix サーバ上で Windows を再起動するときに [ワークステーションのみ] オプションを選択すると、「ディレクトリにログインしていません。また、SecureLogin がキャッシュ済みユーザデータを見つけることができませんでした。」というメッセージが表示されます。

このメッセージは、ユーザが認証される前に 2 回表示されます。

7.1.15 [ログインの管理] ウィンドウからログインを削除できない

場合によっては、Personal Management ユーティリティで、左のペインの [マイログイン] ナビゲーション領域からログインを削除できないことがあります。

ユーザがログインを右クリックすると、[削除] と [名前変更] の両方のオプションが無効になります。>

ただし、右のペインからログインを削除できます。

7.1.16 インストールが中断される

ユーザアカウント制御 (UAC) は、Microsoft Windows Vista の新しい設定です。Novell SecureLogin のインストール中に UAC が有効になっていると、インストールプロセスを続行するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。プロンプトに長時間応答しないと、デスクトップの設定に応じてスクリーンセーバが表示され、インストールプロセスが中断されて、インストールをやり直すよう求められることがあります。

UAC のプロンプトが表示されないようにする場合、管理者は、Microsoft Windows Vista で UAC の設定を無効にする必要があります。

7.1.17 Novell SecureLogin のアップグレード時に、混乱を招くダイアログボックスが表示される

サーバベースの Windows オペレーティングシステムには、インストールモードと実行モードの 2 つのモードがあります。

Novell SecureLogin を Microsoft Windows 2003 上でアップグレードする際は、インストールモードで実行する必要があります。インストールモードになっていない場合、管理者はインストールモードに切り替える必要があります。

ただし、管理者がインストールモードで Novell SecureLogin のアップグレードを続行しても、[完了] ボタンをアップグレードの完了前にクリックするのか、または完了後にクリックするのか混乱するようなダイアログボックスが表示されます。

アップグレードを続行して完了するには、[完了] をクリックしてください。

7.1.18 2つの異なる eDirectory ツリーで同じ名前とコンテキストを持つユーザが同じ Windows マシンにログインしようとする、Novell SecureLogin でエラーが発生する

2つの異なる eDirectory ツリーで同じ名前とコンテキストを持つユーザが同じ Windows マシンにログインしようとする、「キャッシュファイルがディレクトリ認証データとの同期を失いました。キャッシュファイルを削除して再作成しますか?」というエラーメッセージが表示されます。

ユーザが [OK] をクリックして続行すると、先にログインした同じ名前を持つユーザのユーザ資格情報が削除され、キャッシュファイルには後にログインした同じ名前を持つユーザの資格情報のみが記録されます。

7.1.19 アップグレード後にスタンドアロンモードでのユーザの追加に失敗する

Novell SecureLogin 3.51 SP3 から Novell SecureLogin 6.1 にスタンドアロンモードでアップグレードする場合は、Novell SecureLogin のアップグレード中にシームレスモードに移行しないと、アップグレード後にスタンドアロンの Novell SecureLogin クライアントに新しいユーザを追加できません。

7.1.20 AVI ファイルを Secure Workstation で再生したときの Windows Vista 上のタイムアウトの警告

AVI ファイルをネットワークにマップされたドライブから再生すると、タイムアウトの警告の一部が Windows Vista で通知されません。

この問題を回避するには、ファイルをローカルドライブにコピーし、ポリシーエディタでローカルパスを Secure Workstation 内に設定します。

7.1.21 ワークステーションのログイン時に NSL が Novell iFolder 2.1.x クライアントを認識しない

ユーザがワークステーションにログインするときに、NSL は、起動時の Novell iFolder[®] 2.1.8 のログインウィンドウを自動的に認識しません。

回避策としては、Novell iFolder のプレビルトスクリプトを手動で追加し、ワークステーションに再度ログインします。その後、NSL により iFolder 2.1.8 のログインウィンドウが識別されるようになります。

7.1.22 ユーザが LDAP モードで NSL へのログインをキャンセルするときに、NSL を終了できない

Windows 2000 サーバでは、ユーザが LDAP モードで NSL へのログインをキャンセルするときに、SSO を実行するかどうかを選択するよう促す SecureLogin メッセージが表示されます。その場合、SSO を使用して Web アプリケーションに接続すると、Internet Explorer* がクラッシュする可能性があります。

7.1.23 ScriptBroker モジュールをインスタンス化できません : 80070005

一部の Web ページは、SecureLogin に対して異なった方法で情報を提供するように設定されている場合があります。このような Web ページで作業していると、「ScriptBroker モジュールをインスタンス化できません : 80070005」というエラーメッセージが表示される可能性があります。

その場合は、レジストリキー \HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\protocom\securelogin の下の IESSO_USE_COM のレジストリを設定します (Dword - 値「0」)。このレジストリキーにより、複数の SecureLogin プロセス間の通信方法を変更し、Web の問題を回避することができます。

この方法は、エラーの発生する Web ページだけでなく、すべての Web ページで有効です。

7.1.24 ユーザが eDirectory モードと LDAP モードの両方で同じスマートカードを使って認証できない

ユーザが、eDirectory モードで認証に使用したものと同じスマートカードを使って LDAP モードで SecureLogin にログインしようとする、と、認証に失敗します。これは、SecureLogin のスマートカードが、それぞれのモードでユーザを別人として認識するように実装されているからです。

7.1.25 AES 暗号化が Windows 2000 でサポートされない

AES のアルゴリズムを使ってディレクトリ内の SSO データを暗号化するためのセキュリティの初期設定は、Windows Vista、XP、または 2003 のマシンでのみ使用できます。Windows 2000 は Microsoft の暗号ライブラリをサポートしていないため使用できません。

7.1.26 通知領域アイコンのロックを解除する際にパスワードの大文字と小文字を区別する機能が動作しない

Novell Client™ 4.91 SP2 を使用している場合、SecureLogin が Client32™ モードでインストールされているときには、通知領域アイコンのロックを解除する際にパスワードの大文字と小文字の区別は考慮されません。この機能を使用するには、Novell Client をバージョン 4.91 SP3 に更新してください。

7.1.27 pcProx 認証を使って通知領域アイコンのロックを解除できない

NMAS pcProx 認証を使用して SecureLogin の通知領域アイコンのロックを解除することはできません。パスフレーズを有効にしてある場合はパスフレーズを使用するか、ディレクトリパスワードを使用して、アイコンのロックを解除してください。または、ユニバーサルパスワードを設定して私用することもできます。

7.1.28 キャッシュの更新によって LDAP モードでの猶予ログインが減少する

Novell SecureLogin が LDAP モードでインストールされていて、LDAP ユーザパスワードの期限が切れている場合、キャッシュログインが更新されるたびに猶予ログインの回数が 1 回ずつ減少します。この現象は、キャッシュが更新されるたびに、SecureLogin がディレクトリに対する再認証を試みるために発生します。

7.1.29 NICI クライアントがアンインストールされない

Novell International Cryptography Infrastructure(NICI) は、次のモードのいずれかで SecureLogin がインストールされると、自動的にインストールされます。

- ◆ LDAP
- ◆ eDirectory with LDAP(LDAP を使用した eDirectory)
- ◆ eDirectory と、Client32 プロトコルおよび Novell SecretStore が、インストール対象として選択されています。

ただし、他の Novell サービス (NMAS、Novell Client、SecretStore など) が NICI クライアントを必要としている場合があるため、SecureLogin をアンインストールしても NICI クライアントはアンインストールされません。

NICI クライアントをアンインストールする場合は、事前に他のサービスが NICI クライアントを必要としないことを確認してください。NICI クライアントをアンインストールするには、[プログラムの追加と削除] を使用します。

7.1.30 一意の名前の使用

ユーザ ID、アプリケーション、パスワードポリシーの名前は、すべて一意にする必要があります。また、「Error」という名前のアプリケーションは作成できません。

SecretStore クライアントと SecureLogin を、eDirectory モードでインストールし、たとえば、「App1」という名前で、パスワードポリシーが既に存在している場合、「App1」という名前を付けたアプリケーションを追加することはできません。

7.1.31 ZENworks for Desktops 管理エージェントのアンインストール後のログイン

次の場合、ワークステーションにログインできないことがあります。

- ◆ ZENworks® for Desktops 4.0.1 管理エージェントがインストールされている。
- ◆ SecureLogin がインストールされている。
- ◆ ZENworks for Desktops 管理エージェントをアンインストールしてからワークステーションを再起動した。

この問題を解決するには、次の手順に従います。

- 1 ワークステーションをセーフモードで起動します。
- 2 nwgina.dll ファイルを windows\system32 ディレクトリにコピーします。

7.1.32 Citrix サーバ認証の場合、手動でスマートカードの PIN を入力する必要がある

Citrix ログインプロンプトでスマートカード認証を使用する場合、Citrix サーバ認証では PIN がキャッシュされないため、スマートカードの PIN を手動で入力してください。

7.1.33 Active Directory でデータストアのバージョンを更新する際の問題

Active Directory の MMC では、ディレクトリデータベースのバージョンが変更されたときに、現在のデータストアのバージョン ([詳細設定] ページに表示されます) がすぐに更新されない場合があります。更新するには、[OK] をクリックしてから MMC の [プロパティ] ダイアログボックスを終了してください。

7.1.34 [パズフレーズのセキュリティシステムを有効にする] を変更した場合、ログインが必要

[パズフレーズのセキュリティシステムを有効にする] オプションを変更した場合、設定内容を反映するには、SecureLogin を起動する前に再度ログインする必要があります。

7.1.35 キャッシュの期限

Novell SecureLogin では、クライアントの次のレジストリエントリを使用して、キャッシュの期限を設定できます。

HKEY_LOCAL_MACHINE/SOFTWARE/Protocom/SecureLogin

DWORD 値 CacheExpiryDays

値には、日数を指定します。更新するとすぐにキャッシュの期限が切れてしまうため、ゼロ (0) は指定しないでください。キャッシュの期限は、キャッシュやディレクトリの同期、またはオンラインモードでの Novell SecureLogin のロードを行うたびに更新されます。

注: キャッシュの期限が切れても警告は表示されません。キャッシュの期限が切れた場合、ユーザがログインしてオンラインセッションでキャッシュを再作成するまで、オフラインモードで Novell SecureLogin にアクセスすることはできません。

7.1.36 ViewNow 端末エミュレータ

ViewNow* 端末エミュレータの使用に関する詳細については、Novell サポートまでお問い合わせください。

7.1.37 スタンドアロンモードでの ?syspassword 変数の使用

?syspassword 変数は、スタンドアロンモードでは機能しません。

スタンドアロンモードインストールではスマートカードオプションを選択できないため、スタンドアロンモードインストールへのスマートカードによるログインはサポートされていません。

7.1.38 Microsoft Windows Vista での SLLogging Manager の使用

SLLogging Manager ユーティリティを使用すると、サポート用の詳細なログ記録機能が有効になります。

Microsoft Windows Vista の制限により、SLLogging Manager を Vista で実行する場合は拡張が必要です。

SLLogging Manager アプリケーションを右クリックして、[管理者として実行] を選択します。SLLogging Manager で変更を行うと、関連するログファイルを作成できるように、正しくレジストリが変更されます。

7.1.39 イベントコマンドの実行

イベントコマンドを含む Novell SecureLogin のアプリケーション定義は、Novell SecureLogin を起動する前に開いていた既存のアプリケーションに対しては実行されません。Novell SecureLogin を起動してからアプリケーションを起動した場合、イベントコマンドは正常に機能します。

7.1.40 SLManager でのオブジェクトの選択

SLManager でオブジェクトを選択するときは、ドロップダウンリストからではなく、左のペインにあるネットワークリストから選択します。

7.1.41 古いパスワードの検証

Microsoft Windows 2003 の設定では、ユーザは古いパスワードを使ってワークステーションにログインできる場合があります。ユーザが正常にログインしているため、Novell SecureLogin はロードされません。Windows 2003 サーバの属性 (パスワードの有効期間) によっては、古いパスワードの再利用が許可されます。

パスワードを変更したら即座に古いパスワードが無効になるようにするには、ドメインコントローラのレジストリ設定を、次の値で更新します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Lsa

新しい DWORD 値 OldPasswordAllowedPeriod を作成します。

この値を 0 に設定します。

詳細については、Microsoft の Web サイト (<http://support.microsoft.com/kb/906305>) を参照してください。

7.1.42 Telnet ウィンドウでの簡易編集モード

Microsoft Windows XP、2003、および Vista の Telnet ウィンドウでは、Telnet のデフォルト設定が変更されているため、一部のコマンドが機能しません。

Windows 2000 では簡易編集モードの設定がオンに設定されているため、この問題は発生しません。>

オペレーティングシステムで、簡易編集モードの設定がオフになっています。このため、現在のアダプタで画面の文字を選択することはできません。

この問題に対処するには、次のレジストリキーを設定してください。

HKEY_CURRENT_USER\Console\%SystemRoot%_system32_telnet.exe

"QuickEdit"=dword:00000001

7.2 iManager に関する問題

- ◆ 21 ページの「グループレベルで追加されたアプリケーション、初期設定、ポリシー」
- ◆ 21 ページの「Web ウィザードアプリケーションのサポート」

- ◆ 21 ページの「システムの応答が遅い」
- ◆ 21 ページの「アップグレード後に iManager の [セキュリティ] タブのオプションが表示されない」

7.2.1 グループレベルで追加されたアプリケーション、初期設定、ポリシー

iManager からグループレベルで追加されたアプリケーションとポリシーは、クライアントに反映されません。

新しいグループを作成したときは常に、権利を再割り当てする必要があります。設定済みのグループが正しく機能するためには、読み込み許可を手動で割り当てる必要があります。

グループレベルで追加されたアプリケーション、初期設定、ポリシーなどをクライアントに反映するには、iManager で以下の操作を行います。

- 1 iManager にログインします。
- 2 [権利]、[トラスティの変更] の順に選択します。>
- 3 オブジェクト名を指定します。
- 4 [トラスティの追加] をクリックします。他のオブジェクトを参照します。
トラスティを複数選択することもできます。
- 5 [割り当てられた権利]、[プロパティの追加] の順に選択します。> 次の属性を追加します。
 - ◆ Proto:SSO Entry
 - ◆ Proto:SSO Entry Checksum
 - ◆ Proto:SSO Security Prefs
 - ◆ Proto:SSO Security Prefs Checksum
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [完了] をクリックし、変更を保存して終了します。

7.2.2 Web ウィザードアプリケーションのサポート

このリリースの Novell SecureLogin では、iManager を通じた Web ウィザードアプリケーションの管理はサポートされていません。代わりに、SLManager を使用します。

7.2.3 システムの応答が遅い

SecureLogin が動作しているクライアントマシンで Internet Explorer をブラウザとして iManager SSO スナップインを開くと、システムがすぐに応答しない場合があります (約 10 秒)。

7.2.4 アップグレード後に iManager の [セキュリティ] タブのオプションが表示されない

SecureLogin 3.51.305 で ConsoleOne[®] を使用して [パスフレーズのセキュリティシステムを無効にする] オプションを [はい] に設定すると、SecureLogin 3.51.305 からアップグレードした後に iManager で [セキュリティ] タブのオプションが表示されません。> >

この場合、セキュリティ設定を表示するには、iManager でデータストアモードを 6.0 に変更してください。

7.3 Java 関連の問題

- ◆ 22 ページの「Windows Vista への新しいバージョンの Java のインストール」

7.3.1 Windows Vista への新しいバージョンの Java のインストール

Novell SecureLogin のインストール後に新しいバージョンの Java をインストールすると、次回 Novell SecureLogin を実行するときに、シングルサインオンを有効にするため、新しいバージョンの Java がチェックされます。

新しいバージョンの Java が検出された場合は、C:\Program Files\Java の情報を必要に応じて更新し、その過程で一部のファイルを変更しなければなりません。ただし、Windows Vista では特権を昇格させない限り、ユーザが C:\Program Files\Java のファイルに書き込むことはできません。

この問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 Novell SecureLogin アプリケーションを停止します。
- 2 slproto.exe を見つけ、右クリックして [管理者として実行] を選択します。
- 3 管理者パスワードを指定します。
これで、管理者特権で作業していることになり、Java フォルダにも書き込めるようになります。

7.4 LDAP 関連の問題

- ◆ 22 ページの「LDAP 資格情報プロバイダウィンドウの [パスワード] フィールド」
- ◆ 23 ページの「コントロールパネルメニューの表示が遅い」
- ◆ 23 ページの「LDAP GINA のダイアログボックスが連続して表示される」
- ◆ 23 ページの「eDirectory を使用する LDAP GINA モードの NSL ログイン」
- ◆ 23 ページの「LDAP を使用した SecureLogin で、VMWare のネットワーク接続状況の検出に失敗する」
- ◆ 23 ページの「?syspassword でユニバーサルパスワードまたはシンプルパスワードが反映される」

7.4.1 LDAP 資格情報プロバイダウィンドウの [パスワード] フィールド

Microsoft Windows Vista で LDAP 資格情報プロバイダを使用して NMAS 認証を行うと、資格情報プロバイダの [パスワード] フィールドが冗長になり、使用されません。

NMAS 認証を続行するには、LDAP ユーザ名と LDAP サーバ情報を指定して、パスワードを指定せずに [送信] をクリックします。

7.4.2 コントロールパネルメニューの表示が遅い

LDAP 認証用の GINA をクライアント上で実行しているときにコントロールパネルをスタートメニューから起動すると、コントロールパネルが表示されるまでに 20 秒以上かかります。

7.4.3 LDAP GINA のダイアログボックスが連続して表示される

Novell SecureLogin が Windows 2000 Advanced Server にインストールされていて、[ワークステーションのみ] オプションを使用してワークステーションにログインする場合、LDAP のログインダイアログボックスが複数回表示されます。「ディレクトリへの接続が失われました。SecureLogin は続行できますが、シングルサインオンデータへの変更 / 追加は失われる可能性があります。続行しますか?」というメッセージが表示されます。

処理を続行するには、LDAP のログインダイアログボックスをすべてキャンセルします。

7.4.4 eDirectory を使用する LDAP GINA モードの NSL ログイン

eDirectory ユーザの完全識別名 (FDN) が 128 文字以上の場合、新しいユーザに対してパスワードを設定している間に、eDirectory を使用する LDAP GINA モードの NSL が機能しません。

7.4.5 LDAP を使用した SecureLogin で、VMWare のネットワーク接続状況の検出に失敗する

VMWare* では、LDAP モードの SecureLogin はネットワーク接続状況の検出に失敗します。このため、SecureLogin は [Offline Login (オフラインログイン)] ダイアログボックスに直接切り替えずに、常に [LDAP ログイン] ダイアログボックスを表示します。

7.4.6 ?syspassword でユニバーサルパスワードまたはシンプルパスワードが反映される

SecureLogin が LDAP モードでインストールされ、NMAP 認証が使用されている場合、?syspassword にはログインしたユーザのユニバーサルパスワードが反映されます。

この動作モードでは、NMAP ユーザのユニバーサルパスワードを設定する必要があります。

7.5 SNMP 関連の問題

- ◆ 24 ページの「eDirectory 8.8 SP1 または NMAP3.1.0 のバージョンのサーバで NMAP ポストログインメソッドが失敗する」
- ◆ 24 ページの「通知領域アイコンのロックを解除できない」
- ◆ 24 ページの「?syspassword で誤った値が表示される」
- ◆ 24 ページの「NMAP pcProx ログインメソッドでの Citrix パススルー」
- ◆ 25 ページの「クライアントに NMAP 2.7 がインストールされていてサーバに NMAP 3.x がインストールされている場合、NMAP 2.7 で Citrix パススルーに失敗する」
- ◆ 25 ページの「パスワードを使用しない NMAP ログインでパスワードを無効にすることはできない」
- ◆ 25 ページの「パスワードを使用しない NMAP ログインでオフライン認証に失敗する」

7.5.1 eDirectory 8.8 SP1 または NMAS3.1.0 のバージョンのサーバで NMAS ポストログインメソッドが失敗する

ポストログインメソッド (Secure Workstation) を使用してログインする権限があり、ディレクトリが eDirectory 8.8 SP1 の場合、ユーザはログインできません。インストールされている NMAS サーバのデフォルトバージョンが NMAS 3.1.0 であるためです。

ポストログインメソッド (Secure Workstation) を使用してログインする権限がある場合、ユーザは、eDirectory を 8.8 SP1 または NMAS 3.1.0 にアップグレードした後にログインすることはできません。

この問題を解決するには、[Novell ダウンロード Web サイト \(http://download.novell.com/Download?buildid=9hi7-ELIZ64\)](http://download.novell.com/Download?buildid=9hi7-ELIZ64) で入手できる Security Service 2.0.2 を使用して、NMAS 3.1.1 以降にアップグレードする必要があります。

7.5.2 通知領域アイコンのロックを解除できない

Novell Client のパスワードフィールドが無効になっていて、通知領域アイコンがパスワードで保護されている場合、ユーザは通知領域アイコンのロックを解除できません。

ただし、ユニバーサルパスワードを定義している場合、ユーザは通知領域アイコンのロックを解除できます。この展開モードは、Novell Client のパスワードフィールドを無効にしておく必要のあるお客様にお勧めします。

7.5.3 ?syspassword で誤った値が表示される

NMAS メソッドを使用してログインする際、[Novell Client Login (Novell Client ログイン)] ダイアログボックスで [パスワードの有効化] フィールドを選択していなかった場合、?syspassword 変数にアクセスするスクリプトが、パスワードではなく誤った値を表示します。

[パスワードの有効化] フィールドを選択するには、次の手順に従います。

- 1 通知領域の Novell Client アイコンを右クリックし、[Novell Client Properties (Novell Client プロパティ)]、[ロケーションプロファイル] の順にクリックします。>
- 2 [ロケーションプロファイル] ウィンドウで、[デフォルト] をダブルクリックします。>
- 3 サービスのインスタンスとして [デフォルト] を選択してから、[プロパティ] をクリックしてください。>
- 4 [資格情報] タブで、[パスワードの有効化] フィールドを選択し、[OK] をクリックします。> >

7.5.4 NMAS pcProx ログインメソッドでの Citrix パススルー

Novell SecureLogin が Novell Client モードでインストールされている場合、Citrix パススルーはサポートされません。Novell SecureLogin では、カードの詳細が pcProx ログインメソッドを使用して ?syspassword 変数に保存されないためです。

7.5.5 クライアントに **NMAS 2.7** がインストールされていてサーバに **NMAS 3.x** がインストールされている場合、**NMAS 2.7** で **Citrix** パススルーに失敗する

クライアントに **NMAS 2.7** がインストールされていてサーバに **NMAS 3.x** がインストールされている混在モードシナリオの場合、**Citrix** パススルーは失敗します。

この場合、すべてのクライアントを **NMAS 3.2** にアップグレードし、認証時にパスワードを使用しないようにするために、**NMAS** 仮想チャンネルも無効にしてください。

7.5.6 パスワードを使用しない **NMAS** ログインでパスフレーズを無効にすることはできない

Novell Client を使用した **SecureLogin** では、パスフレーズオプションが無効な場合、パスワードを使用しない **NMAS** ログインはサポートされません。これは、**SecureLogin** がパスワードなしにローカルキャッシュ、ローカルキャッシュファイルのいずれも開くことができないためです。

7.5.7 パスワードを使用しない **NMAS** ログインでオフライン認証に失敗する

パスフレーズのセキュリティシステムを無効にした状態で、パスワードを使用しない **NMAS** 認証を実行する場合、オフライン認証は機能しません。これは、パスワードを使用しないオフラインモードの **NMAS** 認証の場合、**SecureLogin** が受け付けるのはパスフレーズだけであるためです。このシナリオは、**SecureLogin** が **Novell Client** モードでインストールされている場合にのみ発生します。

7.6 pcProx 関連の問題

- ◆ 25 ページの「**pcProx** のロック解除操作」
- ◆ 25 ページの「アップグレード後の **PcProx** 認証」
- ◆ 26 ページの「**NMAS** ログインサーバメソッドのインストール」
- ◆ 26 ページの「**pcProx** が最新式の **USB** カードリーダーで機能しない場合がある」

7.6.1 **pcProx** のロック解除操作

NMAS pcProx シーケンスを使用する **Citrix** セッションのロック解除は機能しません。つまり、リモートの **Citrix** セッションが **Secure Workstation QLL GUI** または **Windows** スクリーンセーバーのオプションでロックされている場合、**NMAS pcProx** シーケンスによるロック解除操作は機能しません。

7.6.2 アップグレード後の **PcProx** 認証

NMAS pcProx クライアントメソッドを使用する場合、**Novell SecureLogin 6.0** 以降にアップグレードする前かアップグレードした後に、**pcProx** クライアントメソッドを手動でアップグレードしてください。

既存の **pcProx** クライアントメソッドを必ずアンインストールしてから、**Novell SecureLogin 6.0** 以降で使用できる **pcProx** クライアントメソッドをインストールしてください。

7.6.3 NMAS ログインサーバメソッドのインストール

NMAS ログインサーバメソッドを、pcProx に対し、iManager 2.6 と NMAS 用 iManager プラグインを使用してインストールする場合、sasPcProxID 属性を持つ User オブジェクトクラスのスキーマ定義の拡張に失敗します。これは、pcProx カード ID を User オブジェクトに関連付けて識別することができないことを意味しています。

この問題を解決するには、iManager スキーマプラグインを使用して、sasPcProxID 属性をユーザオブジェクトクラスに手動で追加する必要があります。

7.6.4 pcProx が最新式の USB カードリーダーで機能しない場合がある

最新の USB カードリーダーでは、現行の pcProx メソッドとの互換性に問題があります。たとえば、bse-rfid1356I-usb というモデル番号の USB カードリーダーでは、pcProx は機能しません。

7.7 スクリプト関連の問題

- ◆ 26 ページの「Vista での Terminal Services および RDP パススルー」
- ◆ 26 ページの「クイックファインダのプレビルトアプリケーションスクリプト」
- ◆ 26 ページの「AOL プレビルトアプリケーション定義」
- ◆ 27 ページの「Hotmail プレビルトアプリケーション定義」
- ◆ 27 ページの「Novell GroupWise 7.0 の Web ログイン用プレビルトスクリプト」
- ◆ 27 ページの「複数のログインアカウント情報が存在する場合、資格情報の選択に失敗する」
- ◆ 27 ページの「GroupWise WebAccess でシングルサインオンに失敗する」

7.7.1 Vista での Terminal Services および RDP パススルー

Novell SecureLogin のこのリリースでは、新しいプレビルトアプリケーションが提供され、Vista で Terminal Services および RDP パススルーを処理できます。

7.7.2 クイックファインダのプレビルトアプリケーションスクリプト

クイックファインダ™ スクリプトを Mozilla* Firefox* で使用すると、クイックファインダにログインして検索しようとしたときに、「Would you like to login again? (もう一度ログインしますか?)」という内容のメッセージが表示されます。

検索を続行するには、プロンプトで [No (いいえ)] をクリックします。

注：Internet Explorer では、この現象は発生しません。

7.7.3 AOL プレビルトアプリケーション定義

Novell SecureLogin のこのリリースには、AOL* インスタントメッセージ用の定義済みアプリケーション定義は含まれていません。

7.7.4 Hotmail プレビルトアプリケーション定義

Novell SecureLogin のこのリリースには、Hotmail* 用の定義済みアプリケーション定義は含まれていません。

7.7.5 Novell GroupWise 7.0 の Web ログイン用プレビルトスクリプト

Windows Vista 環境では、Novell GroupWise® の Web アクセス用プレビルトスクリプトが、Novell SecureLogin クライアントのアプリケーション領域に存在したとしても、検出されません。

ユーザには、スクリプトの使用を要求するプロンプトは表示されません。Novell SecureLogin でのスクリプトの実行は失敗します。

この問題を解決するには、プレビルトスクリプトをアプリケーション定義の一覧に追加します。

7.7.6 複数のログインアカウント情報が存在する場合、資格情報の選択に失敗する

複数のログインが存在する場合、Novell SecureLogin 6.1 では資格情報を選択するようユーザに促すプロンプトは表示されません。複数ログインは Yahoo* 電子メールおよび Novell GroupWise では使用できません。

たとえば、SecureLogin を実行していて、ユーザが Novell GroupWise 電子メールを起動すると、資格情報を保存するよう要求するプロンプトが表示されます。ユーザは資格情報を保存します。その後、ユーザはその他のログイン ID を GroupWise アプリケーションに追加できます。すべての資格情報を保存したら GroupWise アプリケーションを終了します。

次回 GroupWise アプリケーションを起動するときに、資格情報を選択するよう促すプロンプトは表示されず、代わりに、最初に保存した資格情報がログイン用に保存されます。

プレビルトスクリプトがないアプリケーションの場合：

- 1 [アプリケーション]、[アプリケーション名]、[定義] の順にクリックし、[資格情報の入力] オプションが選択されているかどうかを確認します。> > >

このオプションが選択されている場合は、複数ログインが機能するように選択を解除します。

7.7.7 GroupWise WebAccess でシングルサインオンに失敗する

GroupWise Web Access のシングルサインオンを有効にするには、ユーザは GroupWise クライアントスクリプトを手動で挿入する必要があります。

7.8 SecretStore 関連の問題

- ◆ [27 ページの「サーバ上の SecretStore」](#)

7.8.1 サーバ上の SecretStore

クライアント (SecretStore モード) 上で Novell SecretStore® を使用する場合は、クライアントのインストール中に SecretStore オプションを選択する前に、サーバに SecretStore 3.3.5 以降をインストール (またはアップグレード) してください。

7.9 Secure Workstation 関連の問題

- ◆ 28 ページの「Secure Workstation 用のクイックログイン/ログアウトインタフェース」
- ◆ 28 ページの「リモート Citrix セッションでのデバイス除去ポリシー」
- ◆ 28 ページの「Microsoft Windows Vista デスクトップ上での Secure Workstation シーケンスによる NMAS ログインの使用」
- ◆ 28 ページの「Secure Workstation のポストログインメソッドをログインシーケンスに追加すると、ログインに失敗する」

7.9.1 Secure Workstation 用のクイックログイン/ログアウトインタフェース

Secure Workstation を Novell SecureLogin 3.51 または 6.0 から Novell SecureLogin 6.1 にアップグレードした場合、Novell SecureLogin 3.51 または 6.0 によってクイックログイン/ログアウトインタフェースがインストールされていない場合でも、このコンポーネントがインストールされます。これは、NSL 6.1 では .msi ベースのインストールが使用され、それ以前のバージョンでは .exe ベースのインストールが使用されているためです。 .msi インストールでは、.exe インストールで配置されたサブコンポーネントを検出することはできません。

クイックログイン/ログアウトインタフェースが不要な場合は、[スタートアップ] プログラムメニューから簡単に削除できます。レジストリ

HLKM\Software\Microsoft\Windows\Current Version\Run から NSWQLL エントリを削除します。このエントリを削除しても、Novell SecureLogin または Secure Workstation の機能に影響はありません。

7.9.2 リモート Citrix セッションでのデバイス除去ポリシー

Citrix サーバでの Terminal Services クライアント用に設定された Secure Workstation のデバイス除去ポリシーは、クライアントからの Citrix リモートセッションでは機能しません。

この問題を解決するには、Citrix サーバの Novell Secure Workstation サービスを手動で再起動します。

7.9.3 Microsoft Windows Vista デスクトップ上での Secure Workstation シーケンスによる NMAS ログインの使用

Microsoft Windows Vista デスクトップ上では、管理者が Secure Workstation のセッション管理プロセス (wsaccsmp) のロックを解除せずに Secure Workstation のシーケンスによる NMAS ログインを使用すると、エラーコード 740 により NMAS ログインが失敗します。

この問題は、Novell Client、または Novell SecureLogin と LDAP クライアントの組み合わせで NMAS が使用されている場合に発生します。

7.9.4 Secure Workstation のポストログインメソッドをログインシーケンスに追加すると、ログインに失敗する

SUSE® Linux Enterprise Server 10 および eDirectory 8.8 SP1 ではポストログインメソッドが失敗するため、iManager を使用して設定すると Secure Workstation ポリシーは失敗します。

ただし、ユーザはクライアントポリシーを通じて Secure Workstation ポリシー設定を使用できます。

7.10 TLaunch 関連の問題

- ◆ 29 ページの「TLaunch での新しいエミュレータの追加または既存のエミュレータの設定変更の保存に失敗する」
- ◆ 29 ページの「TLaunch ショートカットコマンドラインの /n スイッチ」

7.10.1 TLaunch での新しいエミュレータの追加または既存のエミュレータの設定変更の保存に失敗する

TLaunch を起動して利用可能なエミュレータを検索すると、TLaunch は新しく作成されたエミュレータの検出に失敗します。

また、TLaunch は既存のエミュレータに対して行った変更の保存にも失敗します。

ただし、Microsoft Windows または Windows XP 上でエミュレータの追加および編集を行うことができます。

この問題を回避するには、[スタート]、[プログラム]、[Novell SecureLogin] の順にクリックし、[Terminal Launcher] を右クリックして、[管理者として実行する] を選択します。> > > >

7.10.2 TLaunch ショートカットコマンドラインの /n スイッチ

TLaunch ショートカットコマンドラインの /n (数値) スイッチには、既知の問題があります。

詳細については、Novell サポートまでお問い合わせください。

7.11 Web 関連の問題

- ◆ 29 ページの「Windows 2003 サーバからの Web アプリケーションへのアクセス」
- ◆ 30 ページの「Novell SecureLogin シングルサインオンで、Citrix MetaFrame Web ブラウザで資格情報を再度保存するよう促すプロンプトが表示される」
- ◆ 30 ページの「Firefox と Internet Explorer」
- ◆ 30 ページの「定義済みアプリケーション定義の追加」
- ◆ 30 ページの「SecureLogin のアンインストール後に Mozilla Firefox でエラーが表示される」
- ◆ 30 ページの「インストール時の FireFox 関連の問題」

7.11.1 Windows 2003 サーバからの Web アプリケーションへのアクセス

Microsoft Windows 2003 サーバの Internet Explorer から直接アクセスする Web アプリケーションは、サーバで Windows セキュリティ強化オプションを無効にするまで機能しない場合があります。別の方法として、[インターネットオプション]、[詳細設定] の順にクリックし、サードパーティ製の Web ブラウザ拡張機能を有効にすることもできます。>

ただし、この方法は Microsoft Windows 2003 サーバに接続したクライアントには影響を与えません。

7.11.2 Novell SecureLogin シングルサインオンで、Citrix MetaFrame Web ブラウザで資格情報を再度保存するよう促すプロンプトが表示される

Windows 2000 のセットアップ時に Novell Client モードで実行されている Novell SecureLogin では、Citrix メタフレーム *Web ブラウザで資格情報を再度保存するよう促すプロンプトがシングルサインオン機能によって表示されます。

ユーザが Citrix メタフレーム Web ブラウザ (<http://serverip/Citrix/Metaframe>) を起動して資格情報を入力すると、資格情報を保存するよう促すプロンプトが表示されます。ユーザがログアウトしてからブラウザを再起動すると、資格情報を再度保存するよう促すプロンプトが再度表示されます。

プロンプトで、[いいえ] をクリックして続行してください。

7.11.3 Firefox と Internet Explorer

Firefox と Internet Explorer の操作は異なるため、それぞれのブラウザに対して Web アプリケーション定義を個別に作成する必要があります。

7.11.4 定義済みアプリケーション定義の追加

iManager を使用してコンテナに定義済みアプリケーションを追加する場合、Web ベースアプリケーションの中には Win32 アプリケーションとして誤認されるものがあります。

設定が正しいかどうかを確認するには、アプリケーションの追加後に各アプリケーションのプロパティをチェックしてください。

7.11.5 SecureLogin のアンインストール後に Mozilla Firefox でエラーが表示される

SecureLogin をアンインストールすると、Mozilla Firefox ブラウザを再起動したときにエラーメッセージが表示されます。このエラーは、Firefox の拡張機能にアンインストール用のコマンドラインパラメータがないために発生します。

このエラーが発生した場合は、次の手順に従って Firefox の拡張機能を手動でアンインストールします。

- 1 [ツール]、[拡張機能] の順にクリックします。>
- 2 削除する拡張機能ファイルを選択します。
- 3 [アンインストール] をクリックします。
- 4 ブラウザを再起動します。

7.11.6 インストール時の FireFox 関連の問題

Novell SecureLogin をインストールする前に、Mozilla Firefox を一度は起動することをお勧めします。一度も起動していない場合、Novell SecureLogin のインストール中に、Internet Explorer の設定をインポートするよう促すメッセージが表示されます。

このメッセージが表示された場合は、[インポート] をクリックして Internet Explorer の設定をインポートするか、または [キャンセル] をクリックしてインポートをキャンセルします。>その後で、Novell SecureLogin のインストールを続行できます。

8 レジストリの設定

- [設定] タブの [診断ログファイルを有効にする] オプションをオンにすると、ログ記録が自動的に開始されます。デバッグの詳細については、Novell サポートの Web サイト (<http://support.novell.com/cgi-bin/search/searchtid.cgi?/10088017.htm>) で「TID 10088017」を参照してください。
- LDAP クライアントのレジストリ設定に関する情報が必要な場合は、Novell サポートの Web サイト (http://www.novell.com/support/search.do?cmd=displayKC&docType=kc&externalId=3790292&sliceId=SAL_Public&dialogID=49373420&stateId=0%200%2049379458) で「TID 3790292」を参照してください。

9 サポート

サポートについては、以下を参照してください。

- Novell マニュアルの Web サイト (<http://www.novell.com/documentation/securelogin61>) のオンラインヘルプ
- Novell サポート Web サイト (<http://support.novell.com>) の Knowledgebase、アップデート、チャット

テクニカルサポートの問題については、Novell サポートに電話でお問合せいただくこともできます。サポートの電話番号は 1-800-858-4000 です。

10 マニュアルの表記規則

このドキュメントでは、大なり記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

11 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取

引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、「[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/)」の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2008 Novell, Inc. All rights reserved. 本書の一部または全体を、書面による同意なく、複製、写真複写、検索システムへの登録、送信することは、その形態を問わず禁止します

米国 Novell, Inc. は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に属します。